

2019年4月26日
関西電力株式会社

2018年度 会社説明会

<主なQA>

Q. 中期経営計画（2019-2021）の財務目標設定の背景は。

A. 足元は厳しい競争環境であるが、連結経常利益2,000億円「以上」とし、「以上」で目標を示すことで、これを上回る水準を積極的に目指すという姿勢をお示ししている。

Q. 中期経営計画（2019-2021）におけるDX投資額700億円のリターンの内訳や、考え方は。

A. DX投資のリターンについては、デジタル技術がもたらす業務の効率化や自動化等による「生産性の向上」と新たな付帯サービスや新事業による「付加価値の創出」の2つの側面から、収益向上と効率化の効果を見込んでおり、引き続き取り組んでいく。

Q. 原子力規制委員会から示された特重工事期間の延期に関する指摘等について、今後どのように対応していくつもりか。

A. 特重施設等については、発電用原子炉施設の更なる安全向上のために必須のものと認識し、早期完成に向けて引き続き最大限の努力を継続する所存である。

以上